福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：131

麻痺側のブレーキをかけるときに、手がすべって転落しそうになる

場面の説明

麻痺側のブレーキレバーが短く、身を乗り出して操作しようとしてバランスを崩した



利用シーン	移動
主な利用場所	寝室 リビング・居間 ダイニング・食堂 廊下
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122106 (後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

半身に麻痺のある人は、麻痺のある側に倒れ易いという身体的な特徴があります。この事例も、手がすべったことがきっかけではあったにせよ、普段から危険な姿勢での操作をおこなっていたことが考えられます。ブレーキの柄を長くするなど簡単な工夫で改善できることもありますので、普段からの危険を見逃さず、適切に対応しておくことが必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：片麻痺の利用者であることを知らずに車いすを提供した
モノ：片麻痺の利用者には短すぎるブレーキレバーだった
モノ：ブレーキが固かった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：131

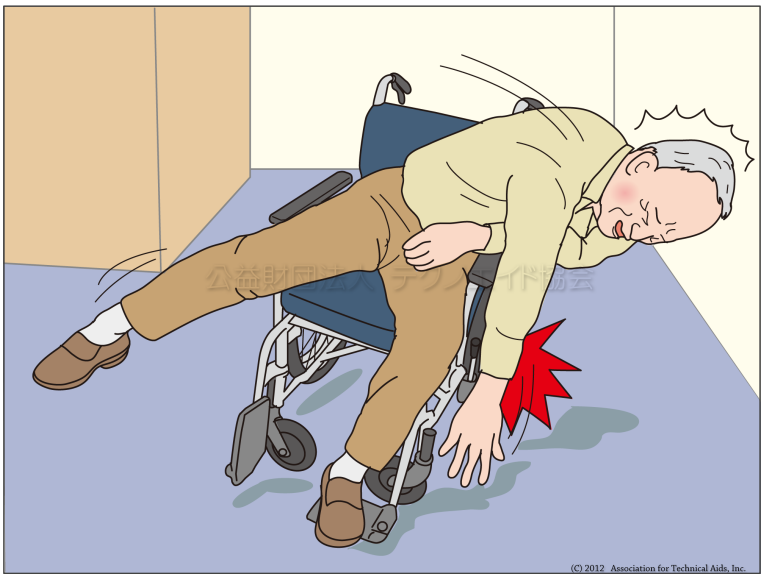
麻痺側のブレーキをかけるときに、手がすべって転落しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

麻痺側のブレーキレバーが短く、身を乗り出して操作しようとしてバランスを崩した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.